

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 3 月 15 日 (2007.3.15)

【公開番号】特開 2005-176927 (P2005-176927A)
 【公開日】平成 17 年 7 月 7 日 (2005.7.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-026
 【出願番号】特願 2003-418549 (P2003-418549)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 1 6 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 12 月 11 日 (2006.12.11)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

遊技領域内に設けられ入口が開閉する特別図柄始動手段に遊技球が検出されることに起因して抽出される抽出値により、特別遊技を実行するか否かを抽選する特別遊技成立判定手段と、

前記特別図柄始動手段に遊技球が検出されることにより、特別図柄の変動を開始し、前記特別遊技成立判定手段によって特別遊技を実行するか否かを特別図柄表示装置に特別図柄の確定表示態様によって遊技者に報知する特別図柄表示制御手段と、

該特別図柄表示制御手段によって特別遊技を示す特定の特別図柄が確定表示されることに基づいて、特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、

遊技領域内に設けられた普通図柄始動手段に遊技球が検出されることに起因して抽出される抽出値により、前記特別図柄始動手段の開閉を実行するか否かを抽選する開閉判定手段と、

前記普通図柄始動手段に遊技球が検出されることにより、普通図柄の変動を開始し、前記開閉判定手段によって前記特別図柄始動手段の開閉を実行するか否かを普通図柄表示装置に表示する普通図柄の確定表示態様によって遊技者に報知する普通図柄表示制御手段と、

を備える遊技機において、

所定の開放条件が成立すると一对の開閉部材を開放する遊技領域中央部の特定入球装置と、

前記特別図柄始動手段、普通図柄始動手段とは別体に、前記特定入球装置内に設けられた時短発生口と、を備え、

前記特定入球装置に入球した遊技球が前記時短発生口に入球することに起因して、前記普通図柄の変動開始から確定表示までの変動表示時間を短縮する時間短縮手段及び前記特別図柄始動手段の開放時間を延長する開放延長手段を作動させるようにし、

前記特別遊技は、前記特定入球装置の開閉部材を開放させることで行い、
前記所定の開放条件が成立することによって前記特定入球装置の開閉部材が開放される開放時間よりも、前記特別遊技によって前記特定入球装置の開閉部材が開放される開放時間を長く設定すると共に、前記特別遊技中に遊技球が前記時短発生口に入球しても前記時間

短縮手段及び前記開放延長手段を作動させないようにしたことを特徴とする弾球遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

前記課題を解決するため請求項1に記載の遊技機は、

遊技領域内に設けられ入口が開閉する特別図柄始動手段に遊技球が検出されることに起因して抽出される抽出値により、特別遊技を実行するか否かを抽選する特別遊技成立判定手段と、

前記特別図柄始動手段に遊技球が検出されることにより、特別図柄の変動を開始し、前記特別遊技成立判定手段によって特別遊技を実行するか否かを特別図柄表示装置に特別図柄の確定表示態様によって遊技者に報知する特別図柄表示制御手段と、

該特別図柄表示制御手段によって特別遊技を示す特定の特別図柄が確定表示されることに基づいて、特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、

遊技領域内に設けられた普通図柄始動手段に遊技球が検出されることに起因して抽出される抽出値により、前記特別図柄始動手段の開閉を実行するか否かを抽選する開閉判定手段と、

前記普通図柄始動手段に遊技球が検出されることにより、普通図柄の変動を開始し、前記開閉判定手段によって前記特別図柄始動手段の開閉を実行するか否かを普通図柄表示装置に表示する普通図柄の確定表示態様によって遊技者に報知する普通図柄表示制御手段と、

を備える遊技機において、

所定の開放条件が成立すると一对の開閉部材を開放する遊技領域中央部の特定入球装置と、

前記特別図柄始動手段、普通図柄始動手段とは別体に、前記特定入球装置内に設けられた時短発生口と、を備え、

前記特定入球装置に入球した遊技球が前記時短発生口に入球することに起因して、前記普通図柄の変動開始から確定表示までの変動表示時間を短縮する時間短縮手段及び前記特別図柄始動手段の開放時間を延長する開放延長手段を作動させるようにし、

前記特別遊技は、前記特定入球装置の開閉部材を開放させることで行い、

前記所定の開放条件が成立することによって前記特定入球装置の開閉部材が開放される開放時間よりも、前記特別遊技によって前記特定入球装置の開閉部材が開放される開放時間を長く設定すると共に、前記特別遊技中に遊技球が前記時短発生口に入球しても前記時間短縮手段及び前記開放延長手段を作動させないようにしたことを特徴とする弾球遊技機である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

前記時間短縮手段、開放延長手段が作動する場合は、前記時短発生口に遊技球が入球した直後に作動することを含むのは無論であるが、該入球することが起因になって後で作動することとも含まれる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

この発明では、特別図柄が大当たり図柄で確定表示されると、前記特定入球装置の開閉部材が開放される。つまり、前記特定入球装置の開閉部材が開放される条件に特別図柄が大当たりで確定表示される場合が加わることになる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

請求項1の発明によれば、通常遊技中において、時間短縮手段及び開放延長手段が作動する可能性があるので、遊技者が通常遊技を少しだけ行って止めてしまうということが少なくなるほか、遊技者がどのようなになったら時間短縮機能及び開放延長機能が作動するのか明確にわかるようになる。また、パチンコ機の特徴である球の拳動によって、時間短縮手段及び開放延長手段が作動するか否かが決定されるので、遊技者により一層、期待感やドキドキハラハラする感覚を与えられる遊技機になる。また、遊技店としても遊技客が時短発生を狙うために遊技球を発射するので、遊技店の利益も落ち込むことを防止できる。

また、前記特定入球装置により特別遊技を実行するので、特定入球装置が多機能化し且つ遊技盤面の簡素化が実現できる。また、所定の開放条件が成立して前記開閉部材が開放される開放時間よりも、前記特別遊技中に前記開閉部材が開放される特別遊技中開放時間のほうが長く設定されていて、特別遊技中開放時間においては、前記特定入球装置の内部に設けられている前記時短発生口を無効化する。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 5
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 2】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 6
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 3】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 7
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 4】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 8
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 5】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 2 9
【補正方法】 削除
【補正の内容】